

2012年12月(記載要領変更に伴う改訂)  
\*2012年4月改訂

この説明書は、服用前に必ずお読みください。  
また、必要な時に読めるよう保管してください。

ねつ・のどの痛み・せき・頭痛 [かぜ薬] 第②類医薬品

# ロン三室IP顆粒

《イブプロフェン・生薬・ビタミンC配合》

かぜでは、頭痛、発熱、のどの痛み、せき、鼻水、くしゃみ、関節の痛みなどいろいろな症状があらわれます。ロン三室IP顆粒は、このようなかぜのさまざまな症状を改善するイブプロフェン、ビタミン、生薬を配合した総合かぜ薬です。熱、のどの痛みをはじめ、かぜの諸症状によく効きます。

## ⚠ 使用上の注意

### ⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

#### 1. 次の人は服用しないでください

- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
- (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- (3) 15才未満の小児。
- \* (4) 出産予定日12週以内の妊婦

#### 2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含む内服薬等(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等)

#### 3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください

(眠気があらわれることがあります)

#### 4. 授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください。

#### 5. 服用前後は飲酒しないでください

#### 6. 5日間を超えて服用しないでください



### 相談すること

#### 1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 高齢者。
- (4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (5) 次の症状のある人。  
高熱、むくみ、排尿困難
- (6) 次の診断を受けた人。  
甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、緑内障、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病
- (7) 次の病気にかかったことのある人。  
胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病

#### 2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明書を持って、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃痛、胃部不快感、口内炎、胸やけ、胃もたれ、胃腸出血、腹痛、下痢、血便
精神神経系	めまい
循 環 器	動悸
呼 吸 器	息切れ
泌 尿 器	排尿困難
そ の 他	目のかすみ、耳なり、むくみ、鼻血、歯ぐきの出血が止まりにくい、出血、背中・の痛み、過度の体温低下、からだがかたくなる

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	尿量が減り、全身のむくみ及びこれらに伴って息苦しさ、だるさ、吐き気・嘔吐、血尿・蛋白尿があらわれる。

(裏面につづく)

無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、吐き気・嘔吐等の症状があらわれる。(このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。)
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらくらとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。

**3.服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください**

便秘、口のかわき、眠気

**4.5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください**  
(特に熱が3日以上続いたり、又は熱が反復したりするとき)

**■ 効能・効果**

かぜの諸症状(のどの痛み、発熱、悪寒、頭痛、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、せき、たん、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和

**■ 用法・用量**

1日3回、食後なるべく30分以内に服用してください。

年齢	大人(15才以上)	15才未満
1回量	1包	服用しないこと

**【用法・用量に関連する注意】**

用法・用量を必ず守ってください。

**■ 成分と働き**

1包(2g)中に次の成分を含んでいます。

成分	含量	働 き
イブプロフェン	150mg	熱を下げ、頭痛、のどの痛みなどを抑えます。
クロルフェニラミンマレイン酸塩	2.5mg	くしゃみ、鼻水、鼻づまりなどの症状を抑えます。
ジヒドロコデインリン酸塩	8mg	せきの中枢に働いて、せきの発生を抑えます。
d,l-メチルエフェドリン塩酸塩	20mg	せきをしずめ、たんをきります。
無水カフェイン	25mg	頭痛をしずめ、眠気を防ぎます。
アスコルビン酸	100mg	消耗しがちなビタミンを補給します。
チアミン硝酸化物	8mg	
リボフラビンリン酸エステルナトリウム	4mg	せきをしずめ、たんや痛みを抑える効果があります。
カンゾウエキス(原生薬換算量1200mg)	400mg	
ケイヒ末	200mg	熱を抑え、痛みをしずめる効果があります。
ショウキョウ末	100mg	全身をあたため、発汗させて熱を下げる効果があります。

添加物としてCMC-Ca、無水ケイ酸、トウモロコシデンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、クロスボドン、セルロース、乳糖を含んでいます。

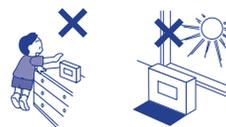
**【服用時のアドバイス】**

- かぜをひいたら、早くかぜ薬を服用して安静にすることが大切です。
- 部屋を暖かくし、時々窓をあけて換気をし、体を冷やさないように衣服にも注意することが必要です。汗をかいたら肌着はこまめに取り替えましょう。
- 栄養に注意し、カロリーが高く消化の良いものをとるようにしましょう。また水分を充分とり、ビタミン類も補給しましょう。
- 薬はコップ一杯のぬるま湯で服用すると効果的です。



**■ 保管及び取扱い上の注意**

- (1) 直射日光の当たらない、湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手のとどかない所に保管してください。
- (3) 誤用をさけ、品質を保持するため、他の容器に入れかえないでください。
- (4) 使用期限をすぎた製品は服用しないでください。



**お問い合わせ先**

本剤の服用により、何か変わった症状があらわれるなど、お気付きの点がございましたら、お買い求めのお店又は下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。  
三宝製薬株式会社 お客様相談室 電話03-3952-0100  
月～金曜日 9:00～17:00(祝祭日を除く)

副作用被害救済制度 ☎0120-149-931



製造販売元  
**三宝製薬株式会社**  
東京都新宿区下落合2-3-18

A1112N